

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約5年間(2015年6月26日～2020年6月17日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド」(以下「アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド」といいます。)の受益証券(円建) ロ、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドの受益証券への投資を通じて、米国の高配当株式に投資するとともに、為替取引ならびに株式および通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。 ※米国の高配当株式への投資にあたっては、米国の高配当株式指数を対象としたETFを活用します。 ②当ファンドは、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドでは、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないます。また、円に対するブラジル・リアルのコール・オプションの売りを行ないます。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、毎決算時に分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ(毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第1期	(決算日	2015年8月17日)
第2期	(決算日	2015年9月17日)
第3期	(決算日	2015年10月19日)
第4期	(決算日	2015年11月17日)
第5期	(決算日	2015年12月17日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ(毎月分配型)」は、このたび、第5期の決算を行ないました。

ここに、第1期～第5期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)

TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額	
	(分配落)	税 分	込 配	み 金				期 騰
	円		円		%	%	百万円	
1 期末（2015年8月17日）	9,296		180	△	5.2	0.1	98.4	148
2 期末（2015年9月17日）	7,790		180	△	14.3	0.1	98.8	124
3 期末（2015年10月19日）	7,879		180		3.5	0.1	98.8	126
4 期末（2015年11月17日）	8,048		180		4.4	0.1	99.0	129
5 期末（2015年12月17日）	7,839		180	△	0.4	0.1	98.9	126

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

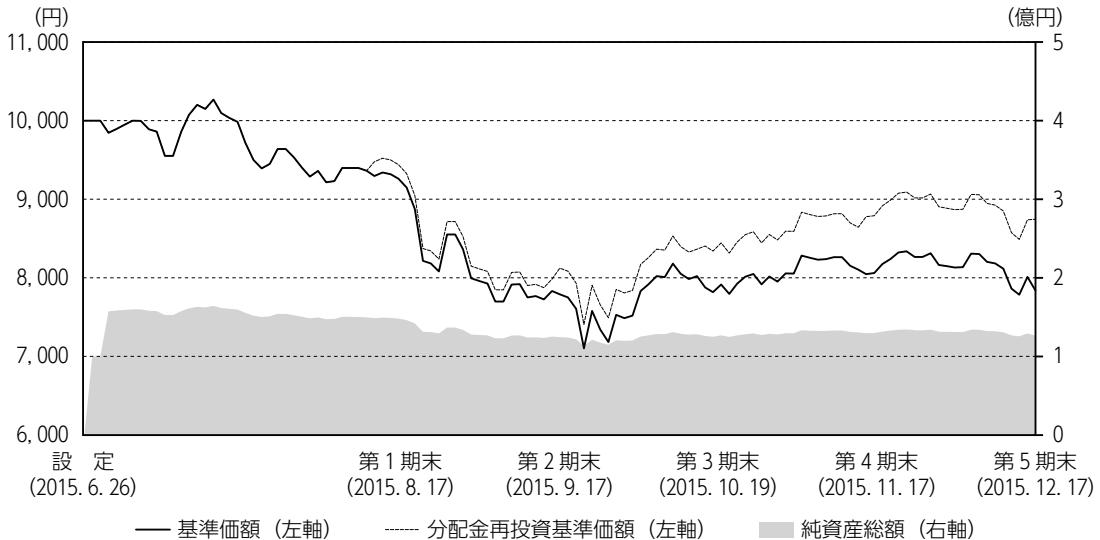
（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

第5期末：7,839円（既払分配金900円）

騰落率：△12.5%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド（以下「アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド」といいます。）において、米国の株式に投資し、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行なうとともに、株式ならびに通貨（円に対するブラジル・レアル）のカバードコール戦略を構築した結果、株式が上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）はプラスに寄与しましたが、ブラジル・レアルが対円で下落したことがマイナスとなり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。オプション取引については、株式および通貨のオプションともにプラスに寄与しました。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %		
第 1 期	(設 定) 2015年 6月26日	10,000	—	—	—
	6 月 末	9,845	△ 1.6	0.1	60.9
	7 月 末	9,639	△ 3.6	0.1	99.1
	(期 末) 2015年 8月17日	9,476	△ 5.2	0.1	98.4
第 2 期	(期 首) 2015年 8月17日	9,296	—	0.1	98.4
	8 月 末	8,551	△ 8.0	0.1	98.3
	(期 末) 2015年 9月17日	7,970	△ 14.3	0.1	98.8
第 3 期	(期 首) 2015年 9月17日	7,790	—	0.1	98.8
	9 月 末	7,183	△ 7.8	0.1	98.7
	(期 末) 2015年10月19日	8,059	3.5	0.1	98.8
第 4 期	(期 首) 2015年10月19日	7,879	—	0.1	98.8
	10 月 末	7,952	0.9	0.1	98.3
	(期 末) 2015年11月17日	8,228	4.4	0.1	99.0
第 5 期	(期 首) 2015年11月17日	8,048	—	0.1	99.0
	11 月 末	8,314	3.3	0.1	99.1
	(期 末) 2015年12月17日	8,019	△ 0.4	0.1	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。(第1期は設定比。)

投資環境について**○米国株式市況**

米国株式市況はほぼ横ばいとなりました。設定より、良好な企業決算などを受けて堅調なスタートとなりましたが、2015年8月に入ると、人民元の切下げに端を発した中国株式市場の混乱からリスク回避姿勢が投資家の間で強まり、下落しました。しかし10月には、F R B（米国連邦準備制度理事会）による年内の利上げ観測が後退したことなどを背景に、上昇に転じました。第5期末にかけては、パリでの同時多発テロやトルコによるロシア軍機撃墜による地政学リスクの高まりなどを背景に、不安定な推移となりました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。設定から2015年8月上旬にかけては、ブラジル財務相がプライマリー・バランスの黒字目標の引き下げを表明し、ブラジルの格付け引き下げ懸念が高まったことなどから下落しました。8月中旬に入ると、人民元の切下げに端を発した中国株式市場の混乱からリスク回避の流れが加速し、続落しました。また、大統領弾劾への動きが見られるなど政治的な不透明感が強まったことも嫌気されました。10月以降はやや反発し、当作成期間前半の下げ幅の一部を埋める展開となりました。

○短期金利市況

ブラジル中央銀行は、政策金利を13.75%から0.50%ポイント引き上げ14.25%としました。一方日本では、日銀が量的・質的金融緩和を継続する中、短期金利は低位で推移しました。

ポートフォリオについて**○当ファンド**

アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資しました。アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

○アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数（Dow Jones U.S. Select Dividend Index）を対象としたiシェアーズ好配当株式ETFを活用し、米国の株式に投資を行ないました。米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないました。投資対象とするETFにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行ない、株式カバードコール戦略を構築しました。オ

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

プシジョンのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。また、円に対するブラジル・リアルのコール・オプションの売りを行ない、通貨カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。

○ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

第1期から第5期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ180円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
	2015年6月26日 ～2015年8月17日	2015年8月18日 ～2015年9月17日	2015年9月18日 ～2015年10月19日	2015年10月20日 ～2015年11月17日	2015年11月18日 ～2015年12月17日
当期分配金（税込み）（円）	180	180	180	180	180
対基準価額比率（％）	1.90	2.26	2.23	2.19	2.24
当期の収益（円）	180	180	180	180	180
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	91	172	283	377	524

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
(a) 経費控除後の配当等収益	271.21円	260.80円	291.04円	273.94円	326.49円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	0.00	0.17	0.37	2.49	3.23
(d) 分配準備積立金	0.00	91.16	171.88	281.12	374.58
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	271.21	352.14	463.30	557.56	704.31
(f) 分配金	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	91.21	172.14	283.30	377.56	524.31

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引き続き、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

○アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたETFを活用し、米国の株式への投資を行ないます。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないます。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプションの売りを行ない、株式カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。また、円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行ない、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

○ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第1期～第5期		項 目 の 概 要
	(2015. 6. 26～2015. 12. 17)		
	金 額	比 率	
信託報酬	50円	0.592%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,381円です。
(投信会社)	(18)	(0.210)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(31)	(0.368)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	3	0.031	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(投資信託受益証券)	(3)	(0.031)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
			有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	52	0.626	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2015年6月26日から2015年12月17日まで)

決算期	第1期～第5期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国(邦貨建)	1,903.355	182,021	179.775	13,958

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年6月26日から2015年12月17日まで)

決算期	第1期～第5期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーポート フォリオ・マザーファンド	159	160	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2015年6月26日から2015年12月17日まで)

第1期～第5期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND (ケイマン諸島)	1,594.326	158,400	99	DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND (ケイマン諸島)	179.775	13,958	77

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間(第1期～第5期)中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年6月26日から2015年12月17日まで)

区分	第1期～第5期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	6,330	530	8.4	299	—	—
コール・ローン	133,076	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間(第1期～第5期)中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■投信会社(自社)による当ファンドの設定・解約および保有状況

設定時 保有額	当作成期間中 設定額	当作成期間中 解約額	第5期末 保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	当初設定時における取得
100	—	—	100	

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 5 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND	1,723.579	125,076	98.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月17日現在

項 目	第 5 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	125,076	96.6
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	160	0.1
コール・ローン等、その他	4,265	3.3
投資信託財産総額	129,501	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 5 期 末	
	□ 数	評 価 額
	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	160

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年8月17日)、(2015年9月17日)、(2015年10月19日)、(2015年11月17日)、(2015年12月17日) 現在

項 目	第 1 期末	第 2 期末	第 3 期末	第 4 期末	第 5 期末
(A) 資産	151,881,293円	127,726,135円	129,211,765円	132,725,737円	129,501,986円
コール・ローン等	5,428,753	4,344,268	4,375,327	4,157,901	4,265,236
投資信託受益証券（評価額）	146,292,524	123,221,851	124,676,422	128,407,804	125,076,718
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（評価額）	160,016	160,016	160,016	160,032	160,032
(B) 負債	3,142,544	3,021,262	3,042,072	3,039,707	3,062,684
未払収益分配金	2,880,108	2,881,548	2,882,355	2,900,640	2,903,461
未払解約金	—	—	24,999	9,999	22,862
未払信託報酬	260,720	137,096	131,239	124,769	131,201
その他未払費用	1,716	2,618	3,479	4,299	5,160
(C) 純資産総額（A－B）	148,738,749	124,704,873	126,169,693	129,686,030	126,439,302
元本	160,006,001	160,086,001	160,130,851	161,146,673	161,303,426
次期繰越損益金	△ 11,267,252	△ 35,381,128	△ 33,961,158	△ 31,460,643	△ 34,864,124
(D) 受益権総口数	160,006,001□	160,086,001□	160,130,851□	161,146,673□	161,303,426□
1万口当り基準価額（C/D）	9,296円	7,790円	7,879円	8,048円	7,839円

* 設定時における元本額は100,000,000円、当作成期間（第1期～第5期）中における追加設定元本額は61,399,515円、同解約元本額は96,089円です。

* 第5期末の計算口数当りの純資産額は7,839円です。

* 第5期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は34,864,124円です。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ (毎月分配型)

■損益の状況

第1期 自2015年6月26日 至2015年8月17日 第3期 自2015年9月18日 至2015年10月19日 第5期 自2015年11月18日 至2015年12月17日
 第2期 自2015年8月18日 至2015年9月17日 第4期 自2015年10月20日 至2015年11月17日

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
(A) 配当等収益	4,601,979円	4,313,075円	4,792,588円	4,513,509円	5,398,565円
受取配当金	4,601,226	4,312,985	4,792,528	4,513,438	5,398,522
受取利息	753	90	60	71	43
(B) 有価証券売買損益	△ 12,720,686	△ 25,389,658	△ 347,698	1,211,652	△ 5,738,995
売買益	17	1	95	1,211,626	1,174
売買損	△ 12,720,703	△ 25,389,659	△ 347,793	△ 26	△ 5,740,169
(C) 信託報酬等	△ 262,436	△ 137,998	△ 132,100	△ 125,589	△ 132,062
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 8,381,143	△ 21,214,581	△ 4,312,790	5,599,572	△ 472,492
(E) 前期繰越損益金	—	△ 11,261,251	△ 35,350,505	△ 33,917,480	△ 31,208,360
(F) 追加信託差損益金	△ 6,001	△ 23,748	△ 41,088	△ 242,095	△ 279,811
(配当等相当額)	(—)	(2,821)	(6,034)	(40,243)	(52,246)
(売買損益相当額)	(△ 6,001)	(△ 26,569)	(△ 47,122)	(△ 282,338)	(△ 332,057)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 8,387,144	△ 32,499,580	△ 31,078,803	△ 28,560,003	△ 31,960,663
(H) 収益分配金	△ 2,880,108	△ 2,881,548	△ 2,882,355	△ 2,900,640	△ 2,903,461
次期繰越損益金 (G + H)	△ 11,267,252	△ 35,381,128	△ 33,961,158	△ 31,460,643	△ 34,864,124
追加信託差損益金	△ 6,001	△ 23,748	△ 41,088	△ 242,095	△ 279,811
(配当等相当額)	(—)	(2,821)	(6,034)	(40,243)	(52,246)
(売買損益相当額)	(△ 6,001)	(△ 26,569)	(△ 47,122)	(△ 282,338)	(△ 332,057)
分配準備積立金	1,459,437	2,752,967	4,530,567	6,044,077	8,405,149
繰越損益金	△ 12,720,688	△ 38,110,347	△ 38,450,637	△ 37,262,625	△ 42,989,462

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,339,545円	4,175,078円	4,660,490円	4,414,496円	5,266,505円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	0	2,821	6,034	40,243	52,246
(d) 分配準備積立金	0	1,459,437	2,752,432	4,530,221	6,042,105
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	4,339,545	5,637,336	7,418,956	8,984,960	11,360,856
(f) 分配金	2,880,108	2,881,548	2,882,355	2,900,640	2,903,461
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,459,437	2,755,788	4,536,601	6,084,320	8,457,395
(h) 受益権総口数	160,006,001口	160,086,001口	160,130,851口	161,146,673口	161,303,426口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ					
1 万 口 当 り 分 配 金	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
	180円	180円	180円	180円	180円
(単 価)	(9, 296円)	(7, 790円)	(7, 879円)	(8, 048円)	(7, 839円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・
ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型））の主要投資対象であるケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド」は、2015年9月30日に第1期決算を迎えておりますが、2015年12月17日現在、決算情報を入手できておりません。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第5期の決算日（2015年12月17日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を13～14ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄 公 社 債

(2015年6月26日から2015年12月17日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
554 国庫短期証券 2015/11/30	699,999	532 国庫短期証券 2015/8/17	99,999
560 国庫短期証券 2015/12/28	600,000	534 国庫短期証券 2015/8/24	99,999
540 国庫短期証券 2015/9/24	470,000	466 国庫短期証券 2015/7/21	99,998
548 国庫短期証券 2015/11/2	449,999		
555 国庫短期証券 2015/12/7	400,000		
546 国庫短期証券 2015/10/19	389,999		
574 国庫短期証券 2016/3/14	350,026		
536 国庫短期証券 2015/9/7	309,999		
557 国庫短期証券 2015/12/14	300,000		
563 国庫短期証券 2016/1/18	299,999		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2015年12月17日現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（4,068,192千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2015年12月17日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	2,400,000	2,400,080	58.7	—	—	—	58.7

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2015年12月17日現在					
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	559 国庫短期証券	—	200,000	200,000	2015/12/21
	560 国庫短期証券	—	600,000	600,000	2015/12/28
	563 国庫短期証券	—	300,000	299,999	2016/01/18
	566 国庫短期証券	—	200,000	199,999	2016/02/01
	567 国庫短期証券	—	300,000	299,999	2016/02/08
	573 国庫短期証券	—	200,000	200,035	2016/03/07
	574 国庫短期証券	—	350,000	350,025	2016/03/14
	576 国庫短期証券	—	150,000	150,013	2016/03/22
	578 国庫短期証券	—	100,000	100,005	2016/03/28
合 計	銘 柄 数 金 額	9 銘柄	2,400,000	2,400,080	

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第7期 (決算日 2015年12月9日)

(計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの第7期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

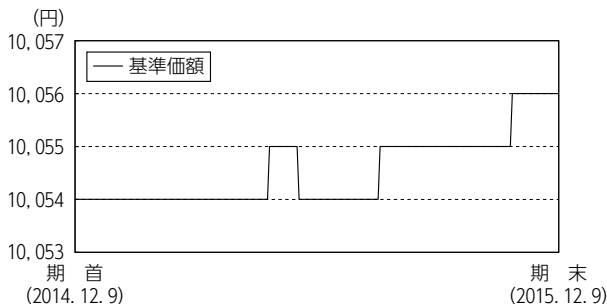
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
	円	騰落率	
(期首) 2014年12月9日	10,054	—	62.6
12月末	10,054	0.0	71.5
2015年1月末	10,054	0.0	71.5
2月末	10,054	0.0	74.4
3月末	10,054	0.0	61.6
4月末	10,054	0.0	60.0
5月末	10,054	0.0	87.5
6月末	10,054	0.0	78.1
7月末	10,055	0.0	90.8
8月末	10,055	0.0	67.2
9月末	10,055	0.0	51.4
10月末	10,055	0.0	76.0
11月末	10,056	0.0	51.3
(期末) 2015年12月9日	10,056	0.0	51.3

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,054円 期末：10,056円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続く、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

■1万口当りの費用の明細

項目	当	期
売買委託手数料		—円
有価証券取引税		—
その他費用		—
合計		—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公社債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

国	買付額	売付額
		千円
内	6,780,031	399,997
		(4,330,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

当 期		期 末	
買 付	売 付	買 付	売 付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
554 国庫短期証券 2015/11/30	699,999	532 国庫短期証券 2015/8/17	99,999
560 国庫短期証券 2015/12/28	600,000	534 国庫短期証券 2015/8/24	99,999
540 国庫短期証券 2015/9/24	470,000	520 国庫短期証券 2015/6/22	99,999
548 国庫短期証券 2015/11/2	449,999	466 国庫短期証券 2015/7/21	99,998
555 国庫短期証券 2015/12/7	400,000		
546 国庫短期証券 2015/10/19	389,999		
536 国庫短期証券 2015/9/7	309,999		
557 国庫短期証券 2015/12/14	300,000		
563 国庫短期証券 2016/1/18	299,999		
567 国庫短期証券 2016/2/8	299,999		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	2,100,038	51.3
コール・ローン等、その他	1,990,861	48.7
投資信託財産総額	4,090,899	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内(邦貨建) 公社債 (種類別)

作 成 期	当 期				期 末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	2,100,000	2,100,038	51.3	—	—	—	51.3

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内(邦貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	当 期			期 末	
	銘 柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	557 国庫短期証券	—	300,000	300,000	2015/12/14
	559 国庫短期証券	—	200,000	200,000	2015/12/21
	560 国庫短期証券	—	600,000	600,000	2015/12/28
	563 国庫短期証券	—	300,000	299,999	2016/01/18
	566 国庫短期証券	—	200,000	199,999	2016/02/01
	567 国庫短期証券	—	300,000	299,999	2016/02/08
	573 国庫短期証券	—	200,000	200,038	2016/03/07
合計	銘柄数	7銘柄			
	金 額		2,100,000	2,100,038	

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,090,899,982円
コール・ローン等	1,990,861,486
公社債（評価額）	2,100,038,496
(B) 負債	—
(C) 純資産総額（A－B）	4,090,899,982
元本	4,068,192,218
次期繰越損益金	22,707,764
(D) 受益権総口数	4,068,192,218口
1万口当り基準価額（C／D）	10,056円

*期首における元本額は79,467,922円、当期中における追加設定元本額は4,645,374,497円、同解約元本額は656,650,201円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・プルファンド（適格機関投資家専用）188,972,589円、ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用）3,808,997,814円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-07（為替ヘッジあり／限定追加型）995円、通貨選択型 米国内リート・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、通貨選択型アメリカン・エクワイティ・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10（為替ヘッジあり）995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10（為替ヘッジあり）Ⅱ995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-12（為替ヘッジあり）995円、ダイワ／ロジャーズ国際コモディティ™・ファンド15,363,351円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型）998円、ダイワTOP I Xベア・ファンド（適格機関投資家専用）596,719円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）9,949円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド－予想分配金提示型－53,926,540円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,056円です。

■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項 目	当	期
(A) 配当等収益		299,560円
受取利息		299,560
(B) 有価証券売買損益	△	1,226
売買益		597
売買損	△	1,823
(C) 当期損益金（A＋B）		298,334
(D) 前期繰越損益金		429,726
(E) 解約差損益金	△	3,569,799
(F) 追加信託差損益金		25,549,503
(G) 合計（C＋D＋E＋F）		22,707,764
次期繰越損益金（G）		22,707,764

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。